

安城市 市民協働に関するアンケート

～第2次安城市市民協働推進計画策定に関する調査（市民活動団体対象）～

《ご協力のお願ひ》

市民活動団体の皆さまには、日ごろから市内における市民活動の活性化にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、協働によるまちづくり※をさらに推進するため、平成25年に策定した「安城市市民協働推進計画」を改訂し、「第2次安城市市民協働推進計画」を平成29年度中に策定する予定です。

今回の調査は、市民活動センター及び社会福祉協議会ボランティアセンターに団体登録している、市民活動団体の皆様に、現在の活動状況や、「協働によるまちづくり」への考えをお聞かせいただき、計画に反映させることを目的に実施するものです。

回答はすべて統計的に処理しますので、回答された方にご迷惑をおかけするようなことはありません。

お忙しいところお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

※「協働によるまちづくり」とは、市民や市民活動団体、町内会、事業者、行政等が、互いに助け合い、協力し合って、誰もが幸せに暮らし続けられるまちづくりを行うことです。

平成28年7月

安城市長 神谷 学

この調査票は、「市民協働」に関する施策策定の目的だけに使われるもので、それ以外の目的に使うことはありません。

<記入方法>

- 回答は、団体の代表者をご記入下さい。何らかの事情により、代表者が記入できない場合には、会の内情をよくご存知の方がご記入下さい。
- 平成28年7月1日現在の内容でご記入下さい。
- ご回答は、あてはまる項目の番号に○をつけてください。また、記述を必要とするところは、ご記入下さい。
- 記入後は、同封の返信用封筒に入れ、**8月18日（木）**までにご返送下さいますようお願い申し上げます。（切手は不要です）

<お問い合わせ>

安城市役所 市民生活部 市民協働課（担当：神尾、澤田）

TEL：0566-71-2218（ダイヤルイン）

FAX：0566-72-3741

Eメール：kyodo@city.anjo.lg.jp

この調査シートに出てくる「協働」ってなに？！

◆「協働」とは？

各地域に存在する課題を解決するために、市民、町内会、市民活動団体、事業者、市が、互いに助け合いながら協力し、課題の解決に向けて活動をする事です。

◆「協働」するメリットは？

協働においては、それぞれの主体が、自分の得意分野を持ち寄り、また、他者の不得意な分野を補いながら活動するため、単独では得ることのできなかった、大きな成果を得られることがあります。そのことが町内会、市民活動団体の活性化につながり、結果として課題の解決につながる可能性があります。市民にとっては、団体の活動が活性化し、地域の課題が解決することで、暮らしやすい地域がつけられることがメリットとなります。

【協働のイメージ図】

誰もが幸せに暮らし続けられるまち

協働の成果 ①地域課題の解決
②地域の活性化 など

市民

市民活動団体

- ・活動の活性化、やりがい、生きがい
- ・団体の信頼性と知名度の向上
- ・新たなきずなづくり

町内会

- ・活動の活性化、やりがい、生きがい
- ・町内会活動の担い手の確保
- ・新たなきずなづくり

協働

協働

協働

協働

行政

- ・まちづくりの推進
- ・複雑化するニーズへの対応

事業者

- ・社会貢献によるイメージアップ
- ・従業員の連携、協力意識の向上

協働

I. 貴団体の概要について

問1 貴団体の組織概要についてお答えください。(選択肢の設問は、あてはまるものに○印)

団体名	
団体種別	1. 法人化していない市民活動・ボランティア団体 2. NPO 法人 3. 社団法人・一般社団法人 4. その他 (具体的に: _____)
活動年数	1. 3年未満 2. 3年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上
会員数	総数_____名 (平成28年4月1日現在) (うち男性_____名・女性_____名・団体会員_____団体)
主な活動地域	1. 安城南中学校区 2. 安城北中学校区 3. 明祥中学校区 4. 安城西中学校区 5. 桜井中学校区 6. 東山中学校区 7. 安祥中学校区 8. 篠目中学校区 9. 市内全域 10. 安城市外 11. その他 (_____)
平成27年度 年間活動予算	1. 5万円未満 2. 5万円以上～10万円未満 3. 10万円以上～50万円未満 4. 50万円以上～100万円未満 5. 100万円以上
活動の対象者	1. 高齢者 2. 障がい者 3. 患者 4. 子ども 5. 外国人 6. 不特定

II. 市民活動の現状と課題

問2 事務所(自団体専用の事務スペース)を持っていますか。(あてはまるもの1つまで○印)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 持っている (問2-1へ) | 2. 持っていない (問3へ) |
|------------------|-----------------|

問2-1 問2で「1. 持っている」と回答した方にお聞きします。どこを事務所として活動していますか
(あてはまるもの1つまで○印)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 会員や代表の自宅 | 3. 賃貸オフィス |
| 2. 他団体のスペースを間借り | 4. その他 (具体的に: _____) |

問3 主に事務作業や会議・打合せなど団体を運営・維持するための活動をどこでしていますか。
(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 市民交流センター (市民活動センター) | 10. 地区福祉センター |
| 2. 文化センター (中央公民館) | 11. 町内公民館 (町内会が設置している公民館) |
| 3. 地区公民館 (市が設置している公民館) | 12. 環境学習センター (秋葉いこいの広場) |
| 4. 市民会館 | 13. あんぱ〜く (子育て支援センター) |
| 5. 中央図書館 | 14. 勤労福祉会館 |
| 6. 青少年の家 | 15. 民間の貸し会議室など |
| 7. 体育館・スポーツセンター・マーメイドパレス | 16. 個人宅 |
| 8. 歴史博物館 (市民ギャラリー) | 17. その他の施設 |
| 9. 総合福祉センター (社会福祉会館) | (施設名: _____) |

問4 人材に関する主な課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 運営スタッフが少なく特定の個人に責任や作業が集中する	6. 新しいメンバーがなかなか入ってこない
2. 活動の中心となるリーダーが育たない	7. メンバーが定着しない
3. メンバーが高齢化している	8. 特にない
4. 世代間の偏りがある	9. その他
5. メンバーが忙しく、活動等の時間がなかなかとれない	(具体的に:)

問5 場所等に関する主な課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 活動に必要な機材が不足している (機材名)	5. 電話・郵便物などを受ける決まった窓口(連絡先)がない (個人代表に依存している)
2. 活動のための道具を置く場所が不足している	6. 特にない
3. 会議や打合せを行う場所が不足している	7. その他(具体的に:)
4. 事務作業を行う場所の確保が難しい	

問6 資金に関する主な課題は何ですか(あてはまるものすべてに○印)

1. 収入が安定しない	5. 会費や入会金が増えない
2. 自主的な事業活動による収入が増えない	6. 金融機関からの融資や助成が受けられない
3. 補助金・助成金の申請の仕方がわからない	7. 特にない
4. 寄附金が集まらない	8. その他(具体的に:)

問7 活動に必要な「資金」を主にどこから得ていますか(あてはまるもの2つまで○印)

1. 会費・入会金	6. 自主的な事業活動による収入
2. 行政機関からの補助金・助成金	7. 寄附金
3. 民間からの補助金・助成金	8. 特にない
4. 行政機関からの業務委託など	9. その他(具体的に:)
5. 民間団体からの業務委託など	

問8 情報に関する主な課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 活動に参加したい人の情報が得にくい	5. 助成金など支援の情報が得にくい
2. 自分たちの活動を効果的に広める方法がない	6. 自分たちの活動に関わる法制度等の情報がわからない
3. 他の市民活動団体や、町内会等との情報交換や交流が しにくい	7. その他 (具体的に:)
4. 活動を必要とする人や施設の情報が得にくい	

問9 活動に必要な情報をどこから入手していますか。

(①から⑪の項目についてあてはまるものそれぞれ1つに○印)

	いつも見ている	時々見ている	あまり見ていない	見ていない
①市ウェブサイト	1	2	3	4
②市広報	1	2	3	4
③市民活動情報サイト	1	2	3	4
④わくわく通信 (市民活動センター情報誌)	1	2	3	4
⑤市民交流センターメールマガジン	1	2	3	4
⑥生涯学習情報誌「あんてな」	1	2	3	4
⑦社会福祉協議会ウェブサイト (ボランティアの窓など)	1	2	3	4
⑧あんじょう社協だより	1	2	3	4
⑨県や他市町のウェブサイト	1	2	3	4
⑩フェイスブックなどのSNS 閲覧先 ()	1	2	3	4
⑪その他 ()	1	2	3	4

問10 その他市民活動を継続していく上で、ご意見等があれば記入してください。

Ⅲ. 市民活動を活性化するために必要なこと

問 11 安城市は、NPOやボランティア団体に対して、具体的にどのような支援をすることが必要だと思いますか。(最も必要と思う支援を3つまで○印)

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 団体に対する「経済的支援(補助金等)」 | 7. 自団体及び活動内容のPR |
| 2. 団体が活動するために役立つ「行政情報」の提供 | 8. 活動分野やイベントに関する専門家の派遣 |
| 3. 団体の活動を支援する機能や活動拠点 | 9. 市民活動の担い手の育成などの「人材育成」の実施 |
| 4. 交流できる場所や会議のできるスペース | 10. 行政の関与は必要ない |
| 5. 他の団体や町内会等との「交流機会」の充実 | 11. 特にない |
| 6. 組織づくりや活動運営についての「相談体制」の充実 | 12. その他(具体的に:) |

問 12 NPOやボランティア団体は、どのような取り組みをすることが必要だと思いますか。
(最も必要な取り組み3つまで○印)

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1. 協働に関する認識や理解を深める | 6. 組織や活動に関する情報を積極的に外部に発信する |
| 2. 活動の運営基盤(人材、資金)を強化し安定性を高める | 7. 公益を担うという意識を高める |
| 3. 組織の専門性(企画力、提案力)を高める | 8. 協働相手の特徴や立場の理解に努める |
| 4. 組織の事務管理能力を高める | 9. その他 |
| 5. 気軽に意見交換できる信頼関係をつくる | (具体的に:) |

問 13 市民活動を支援するための施設である「市民交流センター」を普段どの程度利用していますか。(あてはまるもの1つに○印)

- | | | | |
|-------------|-------------|------------|---------------|
| 1. 週1回以上 | 3. 月に1回程度 | 5. 半年に1回程度 | 7. 施設の存在を知らない |
| 2. 月に2~3回程度 | 4. 3ヶ月に1回程度 | 6. 利用していない | 8. その他() |

問 14 市民交流センターを現在利用している方は、利用上の問題点・課題となっていることがあればご記入下さい。また、現在利用していない方は、なぜ利用していないのか理由をご記入ください。

IV. 協働について

問15 他の市民活動団体、市、事業者等と協働して活動したことがありますか。

1. ある ⇒ 問15-1へ

2. ない ⇒ 問16へ

問15-1 問15で「1. ある」と回答した方にお聞きします。協働相手について教えてください。

(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 同じ分野の市民活動団体 (団体名 |) |
| 2. 違う分野の市民活動団体 (団体名 |) |
| 3. 町内会等の地縁組織 (団体名 |) |
| 4. 事業者 (団体名 |) |
| 5. 行政 (団体名 |) |
| 6. その他 (団体名 |) |

問15-2 協働した活動内容について教えてください。

問16 今後、他の団体と協働して活動したいと思いますか。

1. 思う ⇒ 問16-1へ

2. 思わない ⇒ 8ページ 問16-3へ

問16-1 問16で「1. 思う」と回答した方にお聞きします。どのような団体と協働したいと思いますか。

(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 同じ分野の市民活動団体 (団体名 |) |
| 2. 違う分野の市民活動団体 (団体名 |) |
| 3. 町内会等の地縁組織 (団体名 |) |
| 4. 事業者 (団体名 |) |
| 5. 行政 (団体名 |) |
| 6. その他 (団体名 |) |

問16-2 また、協働したい活動内容を簡単にご説明ください。

問16-3 問16で「2. 思わない」と回答した方にお聞きします。他の団体と協働したくない理由について教えてください。(当てはまるものすべてに○印)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 自分たちで活動が完結しているため | 4. 他にどのような団体があるかわからないため |
| 2. 活動に制約ができてしまうため | 5. その他 () |
| 3. 他の団体等との調整が困難なため | |

問17 平成25年度より実施されている「市民活動補助制度」があることを知っていますか。(あてはまるものいずれかに○印)

- | | |
|--|---|
| 1. 知っている ⇒ <input type="checkbox"/> 問17-1へ | 2. 知らなかった ⇒ <input type="checkbox"/> 問17-3へ |
|--|---|

問17-1 問17で「1. 知っている」と回答した方にお聞きします。「市民活動補助制度」に申請したことがありますか。(あてはまるもの1つに○印)

- | | |
|--|---|
| 1. 申請したことがあります、採択された。 | 4. 制度は知っていたが、申請したことはない。 ⇒ <input type="checkbox"/> 問17-2へ |
| 2. 申請したことがあるが、採択はされなかった。 | |
| 3. 申請を検討したが、申請しなかった。 ⇒ <input type="checkbox"/> 問17-2へ | 5. その他 (具体的に:) |

問17-2 問17-1で「3.申請を検討したが、申請しなかった。」または「4.制度は知っていたが、申請したことはない」と回答した方にお聞きします。申請しなかった理由をご記入ください。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|----------------------|
| 1. 書類の作成方法がわからない |
| 2. 公開プレゼンが面倒だ |
| 3. 全額補助ではないので魅力を感じない |
| 4. その他 (具体的に:) |

問17-3 今後の市民活動団体への補助制度のあり方等について、アイデアや希望がありましたらご記入下さい。

問18 協働の担い手となる人材を育成するためには、どのような人材養成講座が必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|--|
| 1. 新たに市民活動を始めようとする人材を養成する講座 |
| 2. 市民活動団体同士を結びつけ、協働を作り出す(コーディネートする)ことのできる人材を養成する講座 |
| 3. 組織運営能力の向上を図る講座 |
| 4. 特になし |
| 5. その他 (具体的に:) |

問18-1 人材養成講座についてのアイデアなどがありましたら具体的にご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

問19 協働を推進するために、安城市はどのような取り組みが必要だと思いますか。

(最も必要な取り組み3つまで○印)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 市民活動に関する理解を深める | 6. 単年度ではなく中長期的なビジョンで進める |
| 2. 課題を総合的に把握し対処する | 7. 客観的な評価の仕組みを作る |
| 3. 対等な関係として尊重する | 8. 様々な立場の主体をまとめる調整力をつける |
| 4. 協働に関する情報公開をすすめる | 9. 市職員の協働に対する意識を高める |
| 5. 十分な意見交換の機会を設ける | 10. その他(具体的に: _____) |

その他市民協働を推進するためのアイデアやご意見等など、何でも自由にお書き下さい。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

アンケートは以上で終わりです。
ご協力いただきありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。

